



2023年 一般社団法人あぶくまエネスネット 事業方針
並びに代表理事 進士 徹よりご挨拶
2023年2月1日記

1. 日本、世界の情勢から
2. 2023年事業方針
3. 今後のあぶくまエネスネットアクションプラン

1, 2023年が既にスタートして、2月に入りました。日本、世界を取り巻く情勢は日々不確定、不安定な状況です。大きなことは、悲しくも人の命が奪われている現実です。ロシアのウクライナ侵攻は治まる兆しさありません。その有様はますます悲劇の拡大につながる、力と力の武力闘争になっています。何も罪もない子どもたち、一般市民が不安の中にいるという異常な構図になっています。

そして、紛争に苦しんでいる、国が、人々がいることを忘れてはなりません。1日も早くこの無益な戦争が終わり、ウクライナに、世界に平和が取り戻せますように祈る日々は続きます。

日本においては、政府が防衛費増額を決めました。その負担は税から捻出するという国民負担を強いられます。ロシア、中国、北朝鮮の武力行使に不安があるからです。これは日本が戦争で敗戦国になり、何を学んだでしょうか…「戦争は繰り返さない、永久の平和宣言！平和憲法に明記されています。」その憲法改正も含めて、きわめて危うい政治のかじ取りをしていることに、反対意見であることを覚悟をもって主張します。

私には3人の孫がいます。その孫が成人したときに、日本に生まれてきてよかった！誇りをもって大きな声で自信をもって言える日本社会にしたいです。

中国、ロシア、北朝鮮の人たちと楽しく交流がしたいです。

政府がやるべき事は、防衛増額ではなく平和外交、会話外交です。あくまでも日本は中立の立場で、戦争を命がけで中止を訴える国であってほしいです。太平洋戦争で、原爆を落とされ苦しんだ広島、長崎の人たちの苦労を無駄にしてはなりません。

コロナもまだまだ治まる兆しはありません。日々この感染で亡くなる方も多いです。この行方も不安の大きいところです。昨年7月にコロナに感染してしまい、コロナの怖さをまさに感じたので、油断はできません。5月の連休後は、コロナの扱いはインフルエンザと同等になります。コロナの恐ろしいのは変異することです。気を付けなければなりません。

また気候変動、それによる被害！ 凶悪な犯罪！ 環境破壊！ もっと地球にやさしい生き方を人間はすべきです。逆方向に急加速していることに大きなしっぺ返しがいつか来るのでは…不安は増すばかりです。

2, 2023年事業方針

A, 事業継続分野「ぼんた山元気楽校一日帰り・宿泊」

「事業連携—放課後児童クラブ／冒険ひろば(子どもが自然と遊ぶ楽校ネット)」
「首都圏の子どもたちの体験プログラム受入(認定 NPO 夢職人)」
「ふぁみりん; 田舎ホームステイ連携」
「星槎高校—援農体験」

B, 新規スタッフ、イタリア人青年、トマゾ君 正式雇用

トマゾは、NPO 法人 NICE の外国人青年ボランティアでぼんた山に来たことがきっかけでした。彼はミラノ大学を卒業しています。とても優秀な青年です。本当はコロナが無ければ2年前に来ていたのですが、トマゾのぼんた山のスタッフになりたいという希望、熱は冷めることなく、その念願が今月11日に日本入りと同時にあぶくまエヌエスネットの正式スタッフとして働くことになりました。

トマゾを雇用することは、実は大変です。
コロナで減収傾向に歯止めが効いていないからです。

慈善事業でぼんた山は運営できません。

どこかで収益を得ることもしていかなないと、先行きが不安になります。

解決策1;トマゾの英会話力を活かした関り！

解決策2;トマゾがこの過疎地で外国人で就労していること自体アピールしたい。

解決策3;トマゾの魅力を発信！そのことにより家庭教師的な関りも生み出していきたい。

解決策4;トマゾの優しい人柄を活かして、活躍の場を増やしたい。

C, 新規事業;ペレット肥料製造・販売に力を入れる。

これからの農は、大地に負荷をかけない土にやさしい農が主流になってきます。

その栄養価をペレット肥料が大いに力を発揮する！！そう考えています。

このペレット肥料の成分＝米ぬか・大豆・燻炭の3種混合です。

特殊肥料の製造、販売の許可もすでに県から承認を受けています。

販売先＝村直売所、手まめ館！！ 他

販路拡大のためのきちんとしたパッケージも同時に進めなければなりません。

このペレット肥料製造する倉庫建築も早急にクリアしなければなりません。

D, 新規事業;事業提案

企業や、自治体に対して事業提案を進めていきます。

思い描いているいくつかの事業提案し、そのことが提案先にプラスになること。社会貢献度が高くなること。そのアクションが関わった人に幸せ度がUPすること！

そんなことをイメージしています。

時代の先取りをいろんな形で提案していきます。

E, 新規事業;「まさかの時の生き残り塾—オンライン発信！」ライブも考えています。

このことを具現化しなければ！！と思ったのが、ウクライナ戦争がきっかけでした。

ライフラインが遮断されて、明かりも暖を取ることも、生きる上で「食、排泄、睡眠—この3つをキープすること」

その手法を知っていること。1度でも体験しておくことが必要なんです。

今風のオンラインは手軽に情報をキャッチできるツールとして最高です。

なので、まさかの時の生き残りをシリーズ編で構成して発信していきます。

F, 有機農の継続とレベルUPを図る。

ぽんた山の農のスタイルは、自然に優しく、作物の安心安全元気に育つ！！このことをもっとうにしています。

稲作・野菜つくりのレベルUPに精進します。

そして、それを求める消費者の方々に確実にお届けできることを約束します。

以上が2023年度の確実に実行する事業プランです。

ぽんたも年齢＝67歳になります。

まだまだ動けますが、高齢者の仲間入りをしています。

なので、無理せずニコニコ健康を維持しつつ、徐々にメインはペー君に活躍の場をバトンタッチしていきます。

3. 今後のあぶくまエヌエスネットアクションプラン

アクションプランテーマ＝「小さな自然学校の大きな挑戦！！」

A, 1, のところでも触れましたが、日本、世界の情勢は不安の中にあります。ぽんた山に来た子供たちには、自分でしっかり物事を冷静に考え、受け止め、自分はどうすべきか！！そのことを判断し、自分で決断できる力を養ってほしいです。

マスコミや、政府のかじ取りはすべて正しい、正確なこと…今や言えません。

福島県民は12年前の原発事故でそのことを目の当たりに学習して悟りました。

その時々々の社会情勢の変化に自分は流されず、しっかり現実を受け止めて、自分には何ができるのか！！

それをしっかり主張できる人になってほしいのです。

時の権力者や政治家などに左右されてはいけません。

ぽんたは、反社会的運動家でもなんでもありません。

自分が正しいと思い判断し、信じた道を悔いを残すことなく生きたい！ただそれだけです。ご理解いただけただけでしょうか？

B, 事業展開するうえで重要なテーマ＝共感です。

これからアクションプランを実行するうえで、様々な提案をしていきます。

多くの人から共感を得て、あぶくまエヌエスネットの起こす一つ一つが社会の役に立ち、社会の課題を解決して行く！それには共感！相手の心に伝わる・響くことが重要になってきます。

共感を大切に進みます。

C, 地域の課題解決に動き出す！

鮫川村の直近の大きな課題は、耕作放棄地、放置された山林一農山村の環境の悪化です。

それは人口減少、少子化、後継者が絶たれてしまう、農業収入では生業にならない！村を離れて暮らす構図は今後も変わりはないでしょう。

ですが、どこかに解決する糸口はあるはずですが。

この鮫川村で若者が活躍できる、収入を得ながら楽しく暮らせる道を探り築きたいです。

道は必ずある！時代を振り返ると、いつの世も課題はありました。

その時代に生きた人は、その課題に立ち向かい、改革してきました。

我々に何ができるか！後世に何を残せるか…今問われているのです。

糸口として＝体験交流から生まれる人の繋がり！これを継続することです。ここからできること！あるはずですが。それを探究していきます。

小さな自然学校の大きな挑戦！！どうかお力添えをお願いいたします。以上です。